

町の発展にご尽力感謝します

# 平成14年度羽幌町 功績表彰・善行表彰

羽幌町表彰条例に基づき、  
平成14年度の表彰審議会で  
功績者7名、善行者3団体、個人1名の  
表彰が決まりました。  
表彰祝賀会は11月22日、  
共同福祉センターで開催されます。



## 自治功績

木崎昭蔵さん（七十歳）



昭和三十一年一月天売村消防団員として消防界に身を投じて以来、通算三十七年八カ月の長きにわたり住民の生命財産の保全と地域防災に貢献されました。

平成五年十月分団長に昇格し、益々その職責に専念され、部下団員の指導は勿論のこと、幹部として常に団長を補佐するとともに、団員の統率と団運営に尽力され、平成六年四月に副団長の職に就任されました。また、災害発生時には

各分団に適切な指示を出し、勇猛果敢な行動により、地域防災に大きく貢献されました。

## 産業功績

野宮重信さん（七十二歳）



昭和二十年から家業のえび桁漁業に従事し、昭和六十三年から日本海えび籠協議会副会長、平成二年から留萌管内えび籠協議会会長を務め現在に至ります。この間、羽幌のえび籠漁業発展に尽力され、日本海並びに留萌管内えび籠漁業の中心的立場で業界の発展に寄与されました。

また、温厚実直な人柄で責任感と行動力が高く評価され、昭和五十七年から十五年間にわたり漁協理事の役職を歴任し、組合業務の円滑な推進と組合員の経済的地位の向上に努め、漁業経営の安定に寄与されました。

渡邊孝吉さん（七十歳）



協理事に就任し、昭和六十年四月に組合員、役員からの要望を得て組合長代理に就任され、野菜集荷場やライスセンター予備乾燥施設の建設に尽力されるなど、十二年間にわたり農協の事業運営と地域農業の振興に寄与されました。

また、昭和六十二年肉牛部会長に就任し、肉牛振興の先駆者として肉牛生産者の農業所得の増大に尽力されました。

### 社会功績

高橋良三さん（七十四歳）



昭和四十九年十二月から民生児童委員並びに民生調査員として、豊富な経験と精錬潔白な人柄をもって社会奉仕への情熱を發揮され、親身になつた相談や助言指導を行い、特に要保護世帯には自立更生への道を導くなど、自主活動

を積極的に展開されました。

また、平成七年十二月から三年間、さらに平成十一年十二月から副会長の要職に就任され、各委員の意向を尊重しつつ会の自主的な事業展開はもとより、多面に及ぶ会の運営と活動に尽力されました。

蓑谷克美さん（七十一歳）



昭和四十四年三月外科専門医院として開業され、以来今日まで患者の立場にたつた懇切丁寧な診療と治療に意を注ぎ、住民の健康増進と公衆衛生の向上に大きく寄与されました。

また、医院を開業すると同時に光洋小学校の学校医として閉校までの三十二年間の長きにわたり子供たちの健康管理に尽力される傍ら、平成十二年度から介護保険制度における留萌中部介護認定審査会委員として、豊富な知識と経験をもとに積極的な協働と提

言をされ、適切な運営と制度の普及啓発活動に大きく貢献されました。

### 教育文化功績

高田公也さん（六十六歳）



昭和三十七年羽幌町軟式野球連盟に加入以来、長きにわたり審判員、役員として活躍され、本町野球の普及と振興に寄与されるとともに、昭和四十六年羽幌町体育指導委員を拝命以来、長きにわたり町のスポーツ事業やイベント事業の運営と推進に尽力され、各種スポーツサークルの結成と育成に貢献されました。

さらに、留萌地方体育指導委員連絡協議会の副会長として、管内のスポーツ振興にも努められるなど、本町スポーツの振興に果たした功績は多大であります。



町の公益のため、多額の寄付をされました。

羽幌建設協会  
会長 忠津 章

株式会社 勝山組（留萌市）  
取締役社長 勝山直身

株式会社 大晃技研（旭川市）  
代表取締役 伊藤一広

西田武さん（南五の三）



清水鐘さん（七十一歳）



昭和五十三年四月羽幌町農

# 文化賞 体育賞

## 体 育 賞

上坂光雄さん（七十六歳）

昭和四十三年羽幌炭鉱も含めた町バレーボール連盟の創設に努め、結成後は会長として十二年の長きにわたり活躍その間チーム数三十六を数えた町民バレーボール大会の企画、ママさんバレーボールチームを育成して全国大会出場という快挙をなすなど、その功績は大なるものがあります。さらに、平成三年にパークゴルフの普及とともに羽幌パークゴルフ同好会を結成し、会長として十年を務められ、町内をはじめ留萌管内全体のパークゴルフの普及発展に鋭意努力され、その功績は顕著であります。

余田征治さん（六十四歳）

昭和五十年代より野球連盟ソフトボール連盟の中心的な役割をもって活躍し、その間、

ソフトボール連盟会長、野球連盟副会長、審判長を歴任され、両連盟の進展に尽力された功績は高く評価されます。

また、昭和五十二年に羽幌町体育指導委員を拝命され、スポーツ全般にわたって企画指導に果たした功績は大なるものがあり、退任されるまでの二十四年にわたり本町スポーツ振興に尽力され、その功績は顕著であります。

## 文化奨励賞

更科 弘さん（六十三歳）

昭和四十八年に羽幌オロロン太鼓の会に入会し、羽幌町の特色を生かした郷土芸能として定着させるとともに打ち手として会員の技術指導はもとより、少年少女の指導にも当たり、昭和五十三年にジュニアの会を発足し、後継者の育成にも尽力されました。

また、文化連盟理事を務められ、昭和六十一年からは副会長として豊かな知識と能力を発揮され、連盟会員の融和を図りながら各種事業を実施するとともに、各種芸術文化の発表や鑑賞事業の成功に向

けて積極的な体制づくりに尽力されるなど、その功績は顕著であります。

ありそみ短歌会

昭和七年皇風歌会として発足し、昭和二十三年光風歌会と改称、さらに昭和三十四年ありそみ短歌会と改称し、約七十年の長きにわたり短歌の奨励に尽力されました。

さらに、歌集「ありそみ」の継続発刊や各短歌の大会に多くの作品を出品され、優秀な成績を収めるなど、長きにわたり本町の文化振興に果たされた役割は多大であり、その功績は顕著であります。

## 体育協会 スポーツ賞

## 体育協会スポーツ振興賞

田中幸治さん（四十歳）

長年、バレーボール連盟役員として普及発展に努めるとともに、体育指導委員としても広く普及発展に努め体育、スポーツの振興に貢献されました。

江島 勉さん（六十二歳）

長年、ソフトボール連盟の役員、審判員としてソフトボールの普及と組織の運営に努められ、体育、スポーツの振興に貢献されました。

秋山文男さん（五十四歳）

長年、ソフトボール連盟の役員としてソフトボールの普及と組織の運営に努められ、体育、スポーツの振興に貢献されました。

本間芳克さん（五十四歳）

長年、各種マラソン大会で好成績を収めるとともに、他の模範となる活動を実践され、体育、スポーツの振興に貢献されました。

## 文化連盟賞

## 文化連盟功労賞

秋葉 勇さん（六十六歳）

羽幌オロロン太鼓の会に入会以来、会の育成強化に対する支援に努め、幹事長として

も各事業の開催に尽力されるなど、会の発展と文化の振興に貢献されました。

## 文化連盟振興賞

稲吉 豊さん（七十歳）

羽幌陶芸の会を発足以来、陶芸の普及に尽力され、会の発展はもとより各学校で陶芸の指導を行うなど、地域に根ざした活動を通して文化の振興に貢献されました。

吉松龍治さん（六十二歳）

羽幌古生物研究会に入会以来、化石の発掘に努め、貴重な亀の卵の化石を発見するなど、古生物の調査研究を通して文化の振興に貢献されました。

山本金次さん（六十二歳）

長年、こきりこ唄の保存継承に努めるとともに、各芸術祭などでの公演を通じてこきりこ唄の普及に尽力され、会の発展と文化の振興に貢献されました。